

国際交流セッション

金沢市立大徳小学校 清水和久

はじめに「これは有名なデザイナーに描いてもらったんだよ。みんなは、この絵にどんどんつなげていくんだよ。自分の絵からもたくさん絵が生まれるといいね。」と言いながら、種絵の地球をプロジェクターで見せました。「どんなものが見える？」と聞くと、「犬おるよ」とか「おれ、魚見つけたよ」などにぎやかに教えてくれました。全員がはじめにこの絵につなげると、ほかの学校の子供たちがつなげられなくなるので、この絵から、学校代表として、まず1つつなげることを話しました。PCで描く時間もなかったので、描きたい子にフリーハンドで描いてもらい、投票で決めることになりました。

我がクラスは、授業中でも？ノートに絵を描くのが好きな子も多いので…、たくさんの作品が集まりました。さめの絵や、宇宙の絵などいろいろありましたが、なかでも地球のさらに外側を描いた女の子の作品が他者を引き離してダントツで選ばれました。この子は、おとなしい子で、教室ではあまり目立たないのですが、将来は絵を描く職業につきたいと漫画をせっせと描いている子です。選ばれてとってもうれしそうでした。この子に種絵をファイルで渡し、家で描いてきてもらいました。ほかの学校からもいくつかアップがあり、種絵の周りには8種類の絵がそろいました。



実際の作業は参観日にすることに決めていたので、児童には今までアップされている絵(10枚ほど)をみせて、自分の描きたい絵を考えてくるようにいいました。さて参観時当日、実際にふたを開けてみると「先生！絵ふえとるわ」との声。見てみると前日からさらに20枚ほど絵が増えています。どれにつなげるか迷いながらも「なんか生きとるみたい」「おれも早くつなげよう」と口々にいいながら絵を描き始めました。



中でも人気があったのは、犀川小学校の地球を割って目玉焼きが出てくる絵。ここからはその目玉焼きが皿にのった絵を描いたもの、目玉焼きでトランポリンをしている絵、目玉焼きを調理している絵な



どいろいろとできました。連画のマップ絵はプロジェクターで見せていたので、児童画作品をアップするたびに、絵のマップが変わっていき様子をどんどん保護者の方にも見せることができました。ただjpg形式でアップしないと失敗してしまうので「先生僕の絵でんわー!」とのSOSコールもたくさんでました。保護者の方にも助けてもらいながら、少し時間がかかりましたが、ほぼどの子もアップすることができました。

家で連画のサイトと一緒に見る子もいるようで、保護者から「家で一緒に見えています。おもしろいですね。」などと言う感想もメールでいただいたりしました。子供たちも休み時間のたびにサイトを開いて、自分の絵から絵がつながっていないか、もっとつながれる絵がないか楽しみに見ていました。

最後に、交流している台湾の学校にも紹介したのですが、6月の下旬から向こうは休みに入ってしまう、今回は1つだけしかアップがなかったのが残念でした。第2回目は、ぜひ共同でつなげたり、つながったりしたいなと思ってます。